

民事責任法のフロンティア

瀬川 信久 (北海道大学名誉教授), 能見 善久 (東京大学名誉教授),
佐藤 岩昭 (上智大学教授), 森田 修 (東京大学教授) / 編

2019年3月 A5判上製カバー付, 574ページ
定価 13,200円 (本体 12,000円) ISBN 978-4-641-13799-8

社会の変化や法改正の動向とともに研究もまた一段と進展を続ける民事責任法。いま再びの、または新たな論議の中で、どのような視座が拓かれるか。種々の動きを捉え、そこでの展開と今後の展望を描き出す。戦後民法学に大きなインパクトと足跡を残された平井宜雄先生に捧げる論文集。



記念 論文集

民事訴訟法の理論 -- 高橋宏志先生古稀祝賀論文集

高田 裕成 (東京大学教授), 山本 弘 (神戸大学教授), 山本 克己 (京都大学教授),
松下 淳一 (東京大学教授), 畑 瑞穂 (東京大学教授) / 編

2018年2月 A5判上製箱入, 1434ページ
定価 33,000円 (本体 30,000円) ISBN 978-4-641-13780-6

高橋宏志先生の古稀をお祝いし、学界・実務界を牽引する執筆陣による珠玉の論攷 52 篇を収録。民事訴訟法理論の“いま”と“これから”を描き出す。

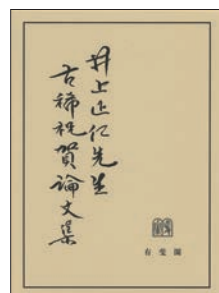


井上正仁先生古稀祝賀論文集

酒巻 匡 (早稲田大学教授), 大澤 裕 (東京大学教授),
川出 敏裕 (東京大学教授) / 編著

2019年3月 A5判上製箱入, 924ページ
定価 20,900円 (本体 19,000円) ISBN 978-4-641-13931-2

井上正仁先生の古稀をお祝いし、学界・実務界を牽引する執筆陣による珠玉の論攷 40 篇を収録。刑事訴訟法理論をめぐる現在を描き出す。

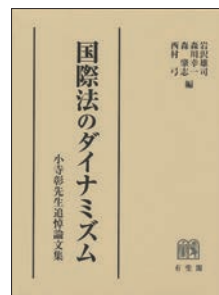


国際法のダイナミズム -- 小寺彰先生追悼論文集

岩沢 雄司 (国際司法裁判所裁判官), 森川 幸一 (専修大学教授),
森 肇志 (東京大学教授), 西村 弓 (東京大学教授) / 編

2019年4月 A5判上製箱入, 808ページ
定価 18,700円 (本体 17,000円) ISBN 978-4-641-04681-8

2014年2月に61歳で逝去された小寺彰先生を偲び、先生とともに研究し、あるいは先生から指導を受けた研究者が捧げる論文集。



憲法を学問する

樋口 陽一 (東京大学名誉教授),
石川 健治 (東京大学教授),
蟻川 恒正 (日本大学教授),
穴戸 常寿 (東京大学教授),
木村 草太 (首都大学東京教授) / 著

2019年4月 四六判並製カバー付, 394ページ
定価 2,970円 (本体 2,700円) ISBN 978-4-641-22752-1

政治的・党派的な文脈で語られがちな憲法。はたと気付くのは、その情報が断片的で色味のついたものばかりであるということ。真に憲法と向き合うために知っておくべきことは何か。議論の渦に飛び込むために、憲法の本質を一緒に考えてみませんか。



憲法

憲法判例と裁判官の視線 -- その先に見ていた世界

千葉 勝美 (元最高裁判所判事, 弁護士) / 著

2019年10月 四六判上製カバー付, 276 ページ
定価 3,520 円 (本体 3,200 円) ISBN 978-4-641-22777-4

最高裁の裁判官はどのような思考のもとに憲法判断を行っているのか。
歴代の最高裁判事の議論の多くに直接・間接に接し、自身も最高裁判事として憲法判例の形成にかかわった著者が、
時代を画した主要な憲法判例 13 件をとりあげ、その背景事情をも踏まえて考察する。



憲法適合的解釈の比較研究

土井 真一 (京都大学教授) / 編著 松本 哲治 (同志社大学教授),
大林 啓吾 (千葉大学准教授), 奥村 公輔 (駒澤大学准教授),
白水 隆 (千葉大学准教授), 山田 哲史 (岡山大学准教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 286 ページ
定価 6,600 円 (本体 6,000 円) ISBN 978-4-641-22751-4

日本における議論状況を明らかにした上で、アメリカ・カナダ・ドイツ・フランスにおける憲法適合的解釈を
比較法的に分析し、日本法におけるそれとの関係につき、定位をこころみる。



行政行為と司法的統制

-- 日仏比較法の視点から (北海道大学大学院法学研究科叢書 20)

亘理 格 (中央大学教授) / 著

2018年6月 A5判上製カバー付, 486 ページ
定価 9,240 円 (本体 8,400 円) ISBN 978-4-641-22742-2

著者が長きにわたり考察の対象としてきた、行政の司法的統制をめぐる論稿
を収載。
フランス行政法との比較法的視点から、わが国の行政行為論を再構成する。



行政契約の機能と限界 (北海道大学大学院法学研究科叢書 21)

岸本 太樹 (北海道大学教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 478 ページ
定価 8,250 円 (本体 7,500 円) ISBN 978-4-641-22759-0

古くから指摘されてきた我が国行政契約論の体系性の不備を捉え、
ドイツにおける議論の展開及び立法動向等を踏まえながら、
体系化の実現可能性ないし現時点で実現しうる体系化の程度について深く考察を加える著者渾身の研究成果。



「警察権の限界」論の再定位 (北海道大学大学院法学研究科叢書 22)

米田 雅宏 (北海道大学教授) / 著

2019年4月 A5判上製カバー付, 516 ページ
定価 8,580 円 (本体 7,800 円) ISBN 978-4-641-22764-4

伝統的な「警察権の限界」論を手がかりに、
現実に求められる警察活動を規律する実効的な法治国家的規範体系を探究するとともに、
警察実務と対話可能な警察法理論の構築をめざす。警察法研究の新たな地平を拓く、気鋭の論攷。



行政情報の法理論 (九州大学法学叢書 5) 村上 裕章 (九州大学教授) / 著

2018年3月 A5判上製カバー付, 422ページ
定価 8,580円 (本体 7,800円) ISBN 978-4-641-22747-7

長年にわたり著者が公表してきた行政情報法に関連する研究業績を体系的に再構成する論文集。「情報公開」「個人情報保護」「行政情報手続」に分類し、それぞれの制度・解釈論、比較法研究、事例研究を通じて考察を加え、著しい進展を見せる行政情報法の全体像を明らかにする。



対話型行政法の開拓線 大橋 洋一 (学習院大学教授) / 著

2019年2月 A5判上製カバー付, 396ページ
定価 7,700円 (本体 7,000円) ISBN 978-4-641-22762-0

現代社会が提起する新規の課題に対応するべく、行政法学の守備範囲の拡大と方法論の多様化を提唱。関連諸科学の知見を取り入れた研究手法を開発、法律諸科目との協働関係の形成にも注力し、開かれた法体系の構築をめざす。関係者との対話を経て考究した最新の成果。



信託課税研究の道標

中里 実 (東京大学教授), 瀧 圭吾 (神戸大学教授),
吉村 政穂 (一橋大学教授) / 編著
増井 良啓 (東京大学教授), 浅妻 章如 (立教大学教授),
藤谷 武史 (東京大学教授), 神山 弘行 (一橋大学准教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 344ページ
定価 6,820円 (本体 6,200円) ISBN 978-4-641-22770-5

信託法理の生成といった過去を振り返るとともに、信託の有する財産権の転換機能(柔軟な受益権設定、時間を超える利益調整)に伴って生じる課税上の諸問題および租税法理論の新たな可能性を広く考察する。

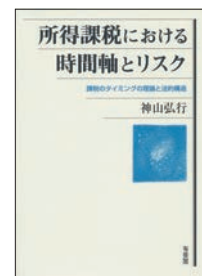


所得課税における時間軸とリスク -- 課税のタイミングの理論と法的構造

神山 弘行 (一橋大学准教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 368ページ
定価 8,140円 (本体 7,400円) ISBN 978-4-641-22748-4

所得課税を題材に「政府の視点」と「納税者の視点」を明確に峻別した上で、時間軸とリスクの二つの側面から、伝統的な租税法理論の再構築を行う。比較法的視座に加え、法と経済学、ファイナンス理論、行動経済学等の知見も縦横に駆使して分析する意欲的研究。



バイオテクノロジーの法規整 -- 交差する公法と知的財産法

斎藤 誠 (東京大学教授) / 著

2020年9月 A5判上製カバー付, 258ページ
定価 7,260円 (本体 6,600円) ISBN 978-4-641-22768-2

日進月歩で進展するバイオテクノロジーの法規整はいかにあるべきか。公法と知的財産法が交差する場面を中心に、EUやドイツの状況を参照しながら考究する論集。ゲノム編集や種子法廃止も含め、立法・学説の動向を補注で詳述し、巻末には事項索引・判例索引のほか、文献一覧を付した。



スウェーデン行政法の研究 交告 尚史 (法政大学教授) / 著

2020年10月 A5判上製カバー付, 228ページ
定価 6,820円 (本体 6,200円) ISBN 978-4-641-22790-3

スウェーデン法に関する研究成果を披瀝しつつ、文化や慣習の紹介ももりばめ、同国法研究の魅力を伝える。執行機関の独立性の原則、独特の権力分立観など、同国の法制を特色づけるテーマを分析した上で、自然保護分野における法執行の実際を考察・紹介する。



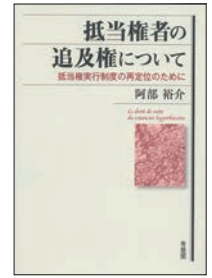


抵当権者の追及権について -- 抵当権実行制度の再定位のために

阿部 裕介 (東北大学准教授) / 著

2018年8月 A5判上製カバー付, 566ページ
定価 10,890円 (本体 9,900円) ISBN 978-4-641-13788-2

抵当不動産が第三取得者に譲渡された場合における抵当権者の追及権に関するフランス法学説史を紐解き、得られた示唆をもとに日本法上の抵当権実行制度の理論的な再定位を試みる。詳細かつ重厚な歴史研究の上に、物権法の新たな体系の可能性をも投げかける研究書。



性法・大学・民法学 -- ポスト司法制度改革の民法学

大村 敦志 (学習院大学教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 332ページ
定価 8,250円 (本体 7,500円) ISBN 978-4-641-13823-0

平成30年間は民法学にとっても変化に富んだ時代であった。時代・場所・視点によって異なる姿をみせる droit naturel, それをだれがどのようにして生成させるのか。



信託法理の展開と法主体 -- 会社法・民事訴訟法・倒産法との交錯

岡 伸浩 (慶應義塾大学教授, 弁護士) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 450ページ
定価 8,580円 (本体 7,800円) ISBN 978-4-641-13821-6

会社法における取締役, 民訴法における弁護士, 倒産法における管財人など実務上重要な法主体に対し, 信託法理が具体的にいかなる影響を及ぼしているかを詳細に分析し, 深く考察を加えた論文集。



広がる民法5 学説解説編 -- 公論の空間を発見する

大村 敦志 (学習院大学教授) / 著

2020年9月 A5判並製カバー付, 394ページ
定価 4,290円 (本体 3,900円) ISBN 978-4-641-13829-2

法と密接不可分の関係にある法学における学説の議論を追うことにより, 法的な思考様式の諸側面を示していく。



双務契約の牽連性と担保の原理 -- 同時履行の抗弁・法定解除・留置権・相殺

岩川 隆嗣 (北海道大学准教授) / 著

2020年9月 A5判上製カバー付, 526ページ
定価 9,680円 (本体 8,800円) ISBN 978-4-641-13842-1

双務契約の牽連性の伝統的理解に疑問を投げかけ, 主にフランス法における同時履行の抗弁を巡る議論の検討を通じて, 同時履行の抗弁・法定解除・留置権・同一の契約に基づく債権による相殺につき, より広範な牽連性を根拠とした統一的理解が可能であることを証立する。



「債権法改正」の文脈 -- 新旧両規定の架橋のために

森田 修 (東京大学教授) / 著

2020年10月 A5判上製カバー付, 812ページ
定価 12,100円 (本体 11,000円) ISBN 978-4-641-13839-1

平成29年民法改正の重要論点について, 従来の学説・判例法の展開に留意しつつ, 審議過程での議論を詳細に跡付ける。かくして得られた新規定の立体的な理解は, 今後の解釈論の重要な出発点となろう。



民法読解 旧民法財産編 I 人権 -- 旧民法から見た新債権法

大村 敦志 (学習院大学教授) / 著

2020年11月 A5判上製カバー付, 308ページ
定価 4,620円 (本体 4,200円) ISBN 978-4-641-13830-8

『民法読解 総則編』『同 親族編』に次ぐ著者の読解の試み。本書は, 旧民法財産編「第2部人権及ヒ義務」を繙く。



会社法

社債のリストラクチャリング

-- 財務危機における社債権者の意思決定に係る法的規律

行岡 睦彦 (神戸大学准教授) / 著

2018年2月 A5判上製カバー付, 460ページ
定価 9,350円 (本体 8,500円) ISBN 978-4-641-22737-8

社債リストラクチャリングに係る法的諸課題と、それらに対してあるべき法的規律。社債市場のありようをも左右するものでありながら、倒産法と会社法の境界になお伏在するこの問題に、比較法的検討を踏まえて切り込み、立法論も含む新たな議論の喚起・深化に貢献する。



株主の利益に反する経営の適法性と持続可能性

-- 会社が築く豊かで住みよい社会

草野 耕一 (西村あさひ法律事務所代表パートナー, 慶應義塾大学教授) / 著

2018年4月 A5判上製カバー付, 376ページ
定価 6,600円 (本体 6,000円) ISBN 978-4-641-13794-3

企業の非営利活動は「株主利益の最大化」という会社法の大原則と両立するのか、経営者はこれを継続的に実施できるのか。長年弁護士として企業経営者の隣に立ってきた経験と数理的な知見を生かして分析、実践可能な行動指針を導く。



M&A 契約研究 -- 理論・実証研究とモデル契約条項

藤田 友敬 (東京大学教授) / 編著

2018年12月 A5判並製カバー付, 386ページ
定価 4,620円 (本体 4,200円) ISBN 978-4-641-13800-1

日本法の下で適切に機能する M&A 契約条項とはどのようなものか。共通理解の実現と深化を目指し、条項1つひとつの文言、意義、経済的機能を、研究者・実務家が詳しく分析・検討。「論究ジュリスト」掲載の研究会を通じての到達点・モデル契約条項を単行本化。



取締役の善管注意義務 -- コーポレートガバナンスの法的構造論

森田 章 (同志社大学教授) / 著

2019年2月 A5判上製カバー付, 298ページ
定価 5,830円 (本体 5,300円) ISBN 978-4-641-13805-6 (同志社大学法学叢書 4)

会社経営にはリスクが伴う、ときには冒険もする。しかし、失敗したとき、時として経営者は責任を問われてしまう。ただ、それでは企業活動が萎縮してしまうのではないか？本書ではアメリカのコーポレートガバナンス制度を紹介しながら、日本の会社法上の法的問題について根本的な解決方法を提案する。



M&A の新たな展開 -- 「公正な M&A の在り方に関する指針」の意義

藤田 友敬 (東京大学教授) / 編

2020年5月 A5判並製, 228ページ
定価 2,860円 (本体 2,600円) ISBN 978-4-641-13835-3 (ジュリストブックス)

2019年6月、「公正な M&A の在り方に関する指針」が公表された。本指針により、M&A 実務にはどのような変化が起きるのか。本指針の策定に携わったメンバーを中心として、指針の意義や影響について多方面から検討を加える。



論究会社法 -- 会社判例の理論と実務

田中 亘 (東京大学教授), 白井 正和 (京都大学教授), 久保田 修平 (弁護士), 内田 修平 (弁護士) / 編

2020年11月 A5判並製カバー付, 392ページ
定価 4,290円 (本体 3,900円) ISBN 978-4-641-13843-8

会社法判例の正確な理解と評価には、理論と実務の双方からのアプローチが必要である。本書では、気鋭の研究者と第一線で活躍する実務家が問題意識を十分に共有し、重要判例を精緻に分析した。「法学教室」の好評連載に、令和元年改正などの動向を補充して単行本化。





民事訴訟法・倒産法の研究

山本 弘 (元神戸大学教授) / 著

2019年6月 A5判上製カバー付, 488ページ
定価 10,780円 (本体 9,800円) ISBN 978-4-641-13806-3

2018年3月に急逝した著者の論文集。民事訴訟法・倒産法の議論の深化に多大な貢献をしてきた著者の論文は、現在でも参照する意義が大きい。生涯にわたる研究の素となった発想を論じた「権利保護の利益概念の研究」をはじめとする、主要な論文を収録。



ADR 法制の現代的課題 -- 民事手続法研究Ⅲ

山本 和彦 (一橋大学教授) / 著

2018年11月 A5判上製カバー付, 510ページ
定価 11,770円 (本体 10,700円) ISBN 978-4-641-13793-6

ADR (裁判外紛争解決手続) は、判決手続と相俟って、紛争解決の質を向上させていく。第一線研究者による、総合的かつアクチュアルな考究。



必要的共同訴訟の研究 (大阪市立大学法学叢書 65)

鶴田 滋 (大阪市立大学教授) / 著

2020年3月 A5判上製カバー付, 326ページ
定価 7,700円 (本体 7,000円) ISBN 978-4-641-13825-4

前著『共有者の共同訴訟の必要性——歴史的・比較法的考察——』において行った基礎的考察を前提に、必要的共同訴訟に関する主要問題について具体的な解釈論を提示する。



事実認定の基礎 -- 裁判官による事実判断の構造 改訂版

伊藤 滋夫 (創価大学名誉教授 (元東京高裁部総括判事・弁護士)) / 著

2020年9月 A5判上製カバー付, 286ページ
定価 4,840円 (本体 4,400円) ISBN 978-4-641-13841-4

民事訴訟における、裁判官の判決に至るまでの事実認定の思考過程を理論的に分析し、体系化を図った画期的1冊。推定、証明度などに関する最新の議論も豊富に織り込み、待望の改訂。

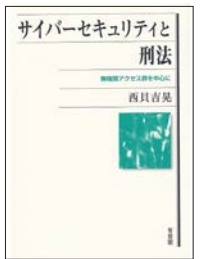


サイバーセキュリティと刑法

西貝 吉晃 (千葉大学准教授) / 著

2020年9月 A5判上製カバー付, 374ページ
定価 6,600円 (本体 6,000円) ISBN 978-4-641-13944-2

サイバー犯罪のなかでも無権限アクセス罪を中心に、コンピューターデータの機密性保護をいかにして行うべきか、情報学や記号学の知見も交えて分析。



法人格を越えた労働法規制の可能性と限界 -- 個別的労働関係法を対象とした日独米比較法研究

土岐 将仁 (岡山大学准教授) / 著

2020年4月 A5判上製カバー付, 414ページ
定価 8,470円 (本体 7,700円) ISBN 978-4-641-24334-7



労働法の基軸 -- 学者五十年の思惟

菅野 和夫 (東京大学名誉教授) / 著

岩村 正彦 (東京大学名誉教授), 荒木 尚志 (東京大学教授) / 聞き手

2020年5月 四六判上製カバー付, 396ページ
定価 4,180円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-24322-4

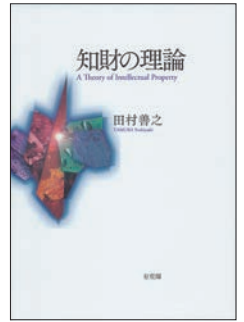


知的財産法 国際法 外国法

知財の理論 田村 善之 (東京大学教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 510ページ
定価 10,780円 (本体 9,800円) ISBN 978-4-641-24325-5

「知的財産」「知的創作物」とはなにか、法はそれらをどう扱うのか。知的財産法政策を様々な法分野との関係性や学際的な視点から論ずる。さらに特許法や著作権法の現代的課題の議論を経て新しい知的財産法学の潮流を展望する。



独仏法における法定解除の歴史と論理 (大阪市立大学法学叢書 64)

杉本 好央 (大阪市立大学准教授) / 著

2018年6月 A5判上製カバー付, 276ページ
定価 7,590円 (本体 6,900円) ISBN 978-4-641-04821-8

2017年に成立した民法改正には、法定解除に関して理論的な問題が存在する。本書では独仏法における一般的な法定解除の歴史的展開を素材とする考察を行う。そして、独仏法における一般的な法定解除の形成と展開を支えた論理を明らかにして、本改正に対する示唆を行う。



法哲学 法律一般

アメリカから見た日本法

J. マーク・ラムザイヤー (ハーバードロースクール教授),
長谷部 恭男 (早稲田大学教授),
宇賀 克也 (東京大学名誉教授), 中里 実 (東京大学教授),
川出 敏裕 (東京大学教授), 大村 敦志 (学習院大学教授),
松下 淳一 (東京大学教授), 神田 秀樹 (学習院大学教授),
荒木 尚志 (東京大学教授), 白石 忠志 (東京大学教授) / 著

2019年10月 A5判並製カバー付, 326ページ
定価 3,850円 (本体 3,500円) ISBN 978-4-641-12591-9

著名かつ学習上重要な事件を素材にして、事件の背景や裁判所の判断を紹介し、解説。ラムザイヤー教授が英語で事案・判旨・解説・自身の見解を示したのち、それぞれの判例につき各分野の第一人者によるコメントを付した。



法の支配と実践理性の制度化 田中 成明 (京都大学名誉教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 360ページ
定価 7,150円 (本体 6,500円) ISBN 978-4-641-12604-6

「法の支配に基づく実践理性の制度化」という法構想の基本的な方向をさぐり、その全体的な理論枠組を再構築する意欲的論文集。法理学的な考察姿勢を明確に示しつつ、視座・構想・モデルなどについて、どのような理論枠組が構築されるのか、その基本的な方向と理論構造を明らかにする。



自動運転と法 藤田 友敬 (東京大学教授) / 編

2018年1月 A5判上製カバー付, 306ページ
定価 4,290円 (本体 3,900円) ISBN 978-4-641-12599-5

自動運転車の普及が現実味を帯びてきた中、事故などの際の法的責任のあり方が議論となっている。本書は、研究者・実務家による検討の成果をまとめ、公表するものである。





『注釈日本国憲法』 A5判上製箱入

長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 編
川岸 令和 (早稲田大学教授), 駒村 圭吾 (慶應義塾大学教授),
阪口 正二郎 (一橋大学教授), 宍戸 常寿 (東京大学教授),
土井 真一 (京都大学教授) / 著

(2) 国民の権利及び義務(1) -- 10条~24条

2017年1月 548ページ
定価 6,930円 (本体 6,300円) ISBN 978-4-641-01797-9



(3) 国民の権利及び義務(2)・国会 -- 25条~64条

2020年3月 906ページ 定価 12,100円 (本体 11,000円) ISBN 978-4-641-01798-6

『新注釈民法』全20巻 A5判上製箱入

大村 敦志 (学習院大学教授), 道垣内 弘人 (東京大学教授), 山本 敬三 (京都大学教授) / 編集代表

(1) -- 総則(1) 1条~89条 通則・人・法人・物

山野目 章夫 (早稲田大学教授) / 編集
2018年11月 862ページ 定価 9,900円 (本体 9,000円) ISBN 978-4-641-01754-2

(5) -- 物権(2) 180条~294条 占有権・所有権・用益物権

小粥 太郎 (東京大学教授) / 編集
2020年12月 854ページ 定価 9,900円 (本体 9,000円) ISBN 978-4-641-01759-7

(6) -- 物権(3) 295条~372条 留置権・先取特権・質権・抵当権(1)

道垣内 弘人 (東京大学教授) / 編集
2019年4月 836ページ 定価 9,680円 (本体 8,800円) ISBN 978-4-641-01755-9

(7) -- 物権(4) 373条~398条の22 抵当権(2)・非典型担保

森田 修 (東京大学教授) / 編集
2019年11月 674ページ 定価 7,920円 (本体 7,200円) ISBN 978-4-641-01757-3

(14) -- 債権(7) 623条~696条 雇用・請負・委任・寄託・組合・終身定期金・和解

山本 豊 (京都大学名誉教授) / 編集
2018年10月 712ページ 定価 8,140円 (本体 7,400円) ISBN 978-4-641-01760-3

(15) -- 債権(8) 697条~711条 事務管理・不当利得・不法行為1

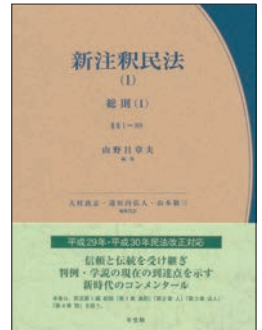
窪田 充見 (神戸大学教授) / 編集
2017年2月 984ページ 定価 11,000円 (本体 10,000円) ISBN 978-4-641-01751-1

(17) -- 親族(1) 725条~791条 親族総則・婚姻・親子(1)

二宮 周平 (立命館大学教授) / 編集
2017年10月 804ページ 定価 9,020円 (本体 8,200円) ISBN 978-4-641-01752-8

(19) -- 相続(1) 882条~959条 相続総則・相続人・相続の効力・相続の承認及び放棄等

潮見 佳男 (京都大学教授) / 編集
2019年10月 776ページ 定価 9,240円 (本体 8,400円) ISBN 978-4-641-01758-0



『注釈民事訴訟法』 全5巻 A5判上製箱入

高田 裕成(東京大学教授), 三木 浩一(慶應義塾大学教授),
山本 克己(京都大学教授), 山本 和彦(一橋大学教授)／編集

第4巻 -- 第一審の訴訟手続(2) 179条～280条

2017年7月 1534ページ
定価19,800円(本体18,000円) ISBN 978-4-641-01794-8

「第2編 第一審の訴訟手続」のうち、「第4章 証拠」から「第8章 簡易裁判所の訴訟手続に関する特別」を扱う。



第5巻 -- 上訴・再審・手形小切手訴訟・少額訴訟・督促手続・執行停止 281条～405条

2015年12月 914ページ
定価9,900円(本体9,000円) ISBN 978-4-641-01795-5

『注釈刑法』

第2巻 -- 各論(1) 77条～198条

西田 典之(元東京大学教授), 山口 厚(早稲田大学教授), 佐伯 仁志(東京大学教授)／編集

2016年12月 A5判上製箱入, 892ページ
定価11,000円(本体10,000円) ISBN 978-4-641-01782-5

団藤重光責任編集『注釈刑法』全6巻に連なる, 新注釈刑法3分冊の第2弾。
第2巻では, 刑法第2編「罪」の前半部分, 77条から198条までを扱う。
多くの裁判例を通して実務を分析するとともに, 学説の現況を明らかにする。研究者, 実務家必携の1冊。



『注釈モントリオール条約』

藤田 勝利(大阪市立大学名誉教授), 落合 誠一(東京大学名誉教授),
山下 友信(同志社大学教授)／編

2020年12月 A5判上製カバー付, 604ページ
定価9,900円(本体9,000円) ISBN 978-4-641-01848-8

「国際航空運送についてのある規則の統一に関する条約」(モントリオール条約)の逐条解説。
多数の締約国を有する本条約は国際航空運送において重要な地位を占めている。実務・研究の指針となる1冊。



有斐閣



※執筆者の所属情報は各書籍刊行時のものです。